

被災地の妊産婦と赤ちゃんを支える

「東北こそだてプロジェクト」寄付募集

寄付



■内容:「東北こそだてプロジェクト」は、東日本大震災被災地や避難先での妊産婦支援活動を支え、支援を続けて行くための資金の寄付をお願いします。

寄付金で活動をサポート。

- マンスリーサポート(サロン開催、家庭訪問、産後ケアの支援を継続的にサポート)
- 目的別サポート(津波や原発の被害を受けた母子へ/仮設住宅で育児中のママ、夫を亡くされたママへ/産後うつや育児不安のあるママへ)
- 自由な設定額でサポート

寄付金の用途について

- ・活動地域…東北被災地(岩手、宮城、福島)および避難地(東京都)
 - ・使用目的…上記地域で子育てを行うママを支援するサロン活動の運営費として。
 - ・支援者総数…累計22,275組の母子(プロジェクト開始から2016年7月まで)
- ※詳しくは、ホームページをご覧ください。

問い合わせ先

一般社団法人 ジェスベール
〒165-0024 東京都中野区松が丘1-10-13
<http://tohokumama.org/>

※ホームページ「お問い合わせメールフォーム」よりお問い合わせください。

一般社団法人 ジェスベール

【概要】東日本大震災後1年を機に、助産師である宗 祥子(そう しょうこ)さんを代表として設立。現地で支援活動を行う助産師とネットワークを作り、被災地の現状を広く社会に発信し、母子支援の必要性を訴え続けている。

●「ジェスベール」より一言

——ママと赤ちゃんに笑顔を。まちが復興するまでは、被災地のママたちを支え、応援を続けたい。——

ジェスベールでは、企業からの助成金が終了した後も支援を継続してきましたが、資金が十分ではないため、支援を縮小している状況です。

皆様のご理解、ご協力をよろしく願いたします。



サロンでは、ママも赤ちゃんも楽しくひととき(岩手県大船渡市、妊産婦たちがつらいうで集まれる場所)こそだてサロン(上野区)



福島県相馬市「相馬助産所」子育てサロン

復興の進まない被災地のママたちを応援
災害時には、妊産婦は外見ではわかりにくいこともあり、サポートの必要性が見逃されがちです。東日本大震災の直後にも適切な支援が受けられず、不安の中で過ごした妊産婦が少なくありませんでした。そして5年後の今も、町の復興が進まず、不自由な生活を強いられながら、将来の見通しも立ちにくい不安な状況の中で子育てをしています。そうした母子を支えるためには、悩みに応じたきめ細やかなケアを行うこ

とが必要ですよ。

ジェスベールは、安心して出産と子育てができるよう、妊産婦支援を行っている現地助産師の活動を継続的に支援しています。被災地では、育児・発育相談、ママたちの体のケアや産後うつ・PTSDなどのメンタルケアを行うほか、孤独になりがちなママたちの交流を支援するサロンの運営が、震災後から途切れることなく行われています。